

カヌースラロームの 日本最高峰レースがここに――

「NHK Eテレ」で全国放送！
10月25日(日) 午後3時～

奥州市地域おこし協力隊
藤野 浩太 選手

今年はジャパンカップに加えて、日本最高峰の大会であるNHK杯全日本カヌースラローム競技大会が開催されます。日本トップ選手が集結し激戦が繰り広げられますので、皆さんの応援をお願いします。また、NHK Eテレでも全国放送されますので、会場に来ることができない人も、ぜひテレビでご覧ください。

第43回NHK杯 全日本カヌースラローム競技大会

第43回NHK杯全日本カヌースラローム
競技大会 兼令和2年度日本カヌースラ
ローム選手権大会 兼2020カヌースラロ
ームジャパンカップキョクヨーシリーズ最終
戦
2020カヌーワイルドウォータージャパン
カップ最終戦



10/23(金) - 25(日)

23日(金) ワイルドウォータージャパンカップ
24日(土) スラロームジャパンカップ
25日(日) スラロームNHK杯・日本選手権

観戦時のお願い

- マスクを着用してください
- 受け付けで検温と記名をしていただきます
- 手指の消毒や咳エチケットにご協力ください
- 他の来場者と間隔を空けて観戦してください
- 大声を出しての応援はご遠慮ください
- ごみはお持ち帰りください
- 発熱や咳などの症状がある人は入場をお断りする場合があります

- 主催 公益社団法人日本カヌー連盟、カヌージャパンカップ奥州市実行委員会
- 会場 奥州いさわカヌー競技場
- 入場料 無料
- 大会ホームページ



- 問い合わせ カヌージャパンカップ奥州市実行委員会（本庁生涯学習スポーツ課内、☎34-2498）

10月は「3R推進月間」 「食品ロス削減月間」です

■問い合わせ
本庁生活環境課生活衛生係
(☎34-2341)

市内の昨年度の家庭ごみの排出量は21,427 tで、3年前より500 tも増加しています。住みよい環境を維持していくため、私たち一人一人が限りある資源を有効に活用し、ごみの焼却・埋め立てによる環境負荷を少なくしていきましょう。

スリーアール ◎3Rでごみを減らそう

リデュース 「減らす、少なくする」という意味で、ごみを出さないことです。ごみにつながる物を家庭に持ち込まないための、普段の暮らしの中でのちょっとした心掛けがリデュースにつながります。



R educe

リユース 一度使った物を繰り返し使うという意味です。自分では必要のないものでも、必要とする人がいるかもしれません。ごみに出す前に考えてみましょう。



R euse

リサイクル 再び資源として利用するという意味です。ごみに混ざれば処分されるだけです。分別すれば資源として有効利用され、ごみの減量にもつながります。



R ecycle

- 買い物はマイバックを持参してレジ袋を減らす
- 過剰包装や不要な割り箸、おしぼりなどを断る
- 食べ物は残さず食べる。食べ切れる分だけ買う・作る
- 使い捨て商品の使用を控えたり、詰め替え用品を使う
- 生ごみは水切りをする。生ごみ処理機を利用する
- ※生ごみ処理機の購入補助制度があります。詳しくはお問い合わせください

- 修理して長く大事に使う
- フリーマーケットやリサイクルショップを利用する
- 必要としている人に譲る
- 新しい使い方を考える（例：着られない服を雑巾にする。広告の裏をメモ用紙にするなど）

- 資源を正しく、きれいに分別する
- 不要になった小型家電は、各地区センターに設置している回収ボックスに入れる
- ※資源物の集団回収に対する奨励金制度があります。詳しくはお問い合わせください

◎家庭ごみの16.9%が食品ロス

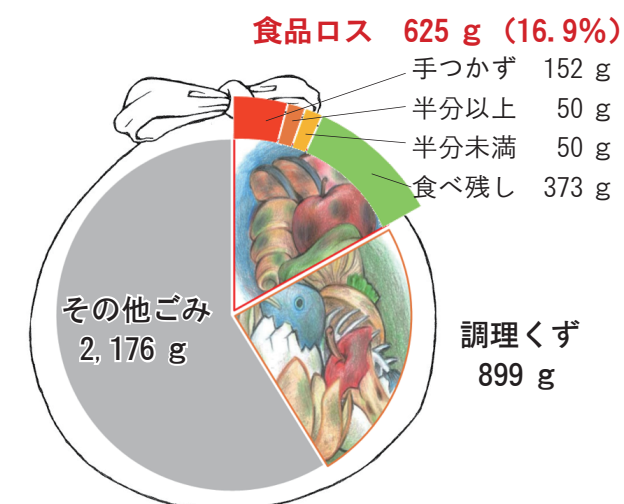
食品ロスとは、食べられずに捨てられた食品のことです。家庭ごみの30～40%が生ごみといわれています。市はこの生ごみの中から、食品ロスがどれくらいあるかの実態調査を行いました。

その結果、排出されたごみ全体の16.9%が、食品ロスということが分かりました。

食品ロスの削減には、一人一人が食品を無駄にしないという意識を持ち、「買いすぎない、作りすぎない」ことが大切です。



ごみとして捨てられた食品



奥州市民が目指す環境像

～未来を見つめる100年循環都市 地球と共存する奥州～

